

ドクター + 教える

『眼瞼下垂』について

磐田市立総合病院
形成外科 部長

みずかみ たかひで
水上 高秀



眼瞼下垂という病気を
ご存知でしょうか。文字
通り、上まぶたが垂れ下
がり物が見えにくくなる
病気です。先天性のもの
もありますが、多くは後
天性の眼瞼下垂が占めて
います。

原因としては、加齢性
のものやコンタクトレン
ズの長期装用などが代表
的です。症状に程度の差
はありますが、お年を召
していくとほとんどの方
のまぶたは下垂し、眼瞼
下垂になっているといえ
ます。

まぶたは、まぶたの縁
にある瞼板という支持組
織を筋肉が持ち上げるこ
とで開きます。眼瞼下垂
では、その瞼板と筋肉の
接着部分が弱まって筋肉
の動きが瞼板に伝わりに
くくなるために起こりま
す。症状が軽度の場合
(代償期)、周囲の組織が
代わりに働くため見た目
には眼瞼下垂かわからな
いですが、この時期から
肩凝りなどの症状を自覚
される方もいます。進行
すると(非代償期)まぶ

たが下垂して物が見にく
くなるため、おでこの筋
肉を収縮させて眉毛を上
げ、少しでも視野を確保
しようとします。

その結果、おでこや後
頭部の筋肉が緊張し、肩
凝りや頭痛の原因になる
こともあります。おでこ
にしわができる、いわ
ゆる老け顔の原因にもな
ります。患者さんによつ
ては、不眠や不安、まぶ
たのけいれんなどの原因
になることもあります。

眼瞼下垂の治療は、ま
ぶたの余った皮膚を切除
し、接着が弱まった筋肉
を瞼板に固定しなおす
という手術を行います。当
院では1〜2泊の入院で
行っています。

最近まぶたが下垂して
きて物が見にくくなった
まぶたが重くなったなど
の症状を感じる方は形成
外科などの受診をお勧め
します。



正常な開眼状態



眼瞼下垂の開眼状態

3月11日は『家庭防災の日』

今やろう、災害から身を守る

『減災』対策！

磐田市自治会連合会では、「自らの命は自ら守る」「家族の命は家族を守る」という自助の意識を高めるため、3月11日を「家庭防災の日」と定めています。意識に勝る防災はありません。家庭防災の日には、自分自身や大切な人を守るために、家庭にある磐田市防災ファイルを活用し、家族で話し合い、次のことを確認しましょう。

ページ番号 1002478

いわたホットとラインに登録しよう

災害対策は正確な情報を自ら入手することから始まります。メール配信サービス「いわたホットとライン」では指定避難所などの開設、避難勧告などの情報を入手することができます。



登録用二次元
バーコード

携帯トイレ(便袋)を備蓄しよう

災害時のトイレ環境は衛生面だけでなく精神的にもストレスを感じます。少しでも快適な在宅避難生活を送れるように便袋などの携帯トイレも備蓄しましょう。

☎ 0538-37-4751
④地域づくり応援課(本庁舎2階)

FAX 0538-32-2353

ページ番号 1002137

木造住宅の地震対策

市では、昭和56年5月31日以前の基準(旧耐震基準)により建築された木造住宅に対して助成制度を設け、地震対策を支援しています。詳細は、建築住宅課へお問い合わせください。

- 専門家無料相談
- わが家の専門家診断
- 耐震補強計画策定
- 耐震補強工事
- 防災ベッド設置
- 期間限定・平成31年度まで
- 解体工事
- 耐震シエルトー設置

☎ 0538-37-4899
④建築住宅課(西庁舎2階)

FAX 0538-33-2050

くらしの
田
情報